

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第465号 平成23年9月



『ばら』 稲垣壮太郎

目次

	頁		頁
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	6) 「永井克明様の労をねぎらう会」報告	
2) 連載企画			広報部 … 8
夏休みとアサガオ	桑子行正 … 3	7) 理事会報告	広報部 … 10
3) 専門医に学ぶ	伊藤宣行 … 4	8) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 12
4) 広報だより		9) 表紙のことば	稲垣壮太郎 … 14
争いから学ぶこと	鹿児島武志 … 5	10) あとがき	菊池 孝 … 14
5) 西多摩地域糖尿病医療連携検討会		11) お知らせ	事務局 … 15
からの今月のメッセージ	鹿児島武志 … 7		

感染症だより

〈全数報告〉

第28週(7/11-7/17)から第32週(8/8-8/14)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 活動性結核3件(肺結核2件、肺外結核1件)

(三類感染症) 細菌性赤痢1件(30週、Shigella sonnei、感染地域:国外)

(四類感染症) なし

(五類感染症) なし

〈管内の定点からの報告〉

	28週	29週	30週	31週	32週
	7.11～7.17	7.18～7.24	7.25～7.31	8.1～8.7	8.8～8.14
RSウイルス感染症					
インフルエンザ					
咽頭結膜熱	14	11	12	16	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	6	5	5	
感染性胃腸炎	26	18	13	9	8
水痘	7	3	3		4
手足口病	28	48	60	95	73
伝染性紅斑	11	3	4	5	5
突発性発しん	3	1	6	7	2
百日咳					
ヘルパンギーナ	16	10	25	25	32
流行性耳下腺炎	3	3	3	1	
不明発疹症					1
MCLS					
急性出血性結膜炎					
流行性角結膜炎		1			1
合計	110	104	131	163	129

基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉
なし

〈コメント〉

① 手足口病の定点当たり報告数は増加傾向です。

都では7月15日に流行警報を出して、警戒を呼びかけています。

32週時点で管内定点当たり報告数は9.13で、31週の11.88(28週は3.50、29週は6.00、30週は7.50)よりも低下しましたが、過去5年の同時期と比較してかなり多くなっています。

都内の32週時点の管内定点当たり報告数は7.91で、多摩地域(特に八王子14.90、南多摩14.56)で多いです。

全国的には30週時点は8.19で、大分県(15.47)、福岡県(15.35)、滋賀県(15.16)が多く、29週に引き続き減少しましたが、過去5年の同時期と比較して多くなっています。近県は、山梨県(7.96)、埼玉県(6.50)、神奈川県(10.21)です。

② ヘルパンギーナの流行警報が出されています。

都では7月15日に流行警報を出して、警戒を呼びかけています。

32週時点の管内定点当たり報告数は4.00(28週は2.00、29週は1.25、30週は3.13、31週は3.13)で、過去5年の同時期と同様に多くなっています。

都内の32週時点の管内定点当たり報告数は5.05で、30週の8.03をピークに減少しましたが、区東部で多いです。

全国的には30週時点では4.45で、宮崎県(8.83)、新潟県(8.28)、北海道(7.94)が多くなっています。近県は、山梨県(3.96)、埼玉県(6.87)、神奈川県(4.92)です。

③ 全国的にマイコプラズマ肺炎は過去5年の同時期と比較して多くなっています。

管内の基幹定点からの報告はありませんが、全国的には過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっています。30週時点の定点当たり報告数は、青森県(2.00)、沖縄県(2.00)、大阪府(1.93)が多いです。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

夏休みとアサガオ

桑子行正

ここ数年夏休み前に秋多中学校からアサガオの鉢が届けられます。今年も生徒数人が我がクリニックに鉢を持って来ました。夏休み期間中、生徒に代わってアサガオを育てるのです。

アサガオの花といえば、私たち日本人にとって懐かしさとともに、夏の訪れを感じさせてくれる植物です。そして日本の花というイメージが強いのですが、原産地は熱帯地方で、そのため暑さが大好きで気温が高くなるほどよく育ちます。日本の高温多湿の夏にぴったりなのです。なぜ日本の花のように思われているかといえば、渡来時期が非常に古いからでしょう。奈良時代末ごろに、薬草として中国からやってきたと言われていました。当時は、種が下剤として利用されていました。その後、平安時代には美しい花が愛されるようになって、「枕草子」や「源氏物語」などにもアサガオの名が登場します。

時代がくだって、江戸時代初期には、一般庶民の間にも広まり、元禄年間には、園芸書はもちろん歌舞伎や川柳・浮世絵にも登場するようになります。

アサガオは、もともと変わった形質が出やすい植物ですが、江戸時代に一世を風靡したものは、花や葉の色や形が変わっている「変化アサガオ」と呼ばれるものでした。

江戸時代後期の文化・天保年間には、中国から伝わった鉢栽培の技術が普及したこともあり、第1期というべき変化アサガオフィーバーがおこります。さらに江戸時代末期には、第2期のプームがおこり、さらに変化が複雑に現れたアサガオが珍重されるようになります。1865年にメンデルが遺伝の法則を発表する以前から、江戸時代の人々は遺伝の仕組みを理解していました。当時の園芸家は、双葉の形などをもとに、めざす形質が現れる株を選び出していました。

このように種々の変化のアサガオが誕生しましたが、現代では人々の好みの変化アサガオから我々が目にする大輪のアサガオに移っ

てしまいました。そして花の大きさも、花色や模様にもバラエティができてきました。

クリニックのアサガオは、淡い水色と青紫の花ですが、クリニックが始まる時間には半分はしぼんでいます。アサガオは早朝に咲くことは誰もが知っていますが、何を合図に花を咲かせるのでしょうか。

早朝に咲くことから、だんだん明るくなる光に反応して花を開いているように思えますが、実は逆に、暗くなることで開花のスイッチが入るのです。前日の日没を合図にスイッチを入れ、そこから一定時間がたつと花が咲き始めます。

そのため日が短くなるにしたがって、開花の時間もどんどん早くなります。日没が遅い7月の開花は、午前4時ごろに始まりますが、日が短くなる9～10月の開花は、なんと午前2時ごろから始まります。

ところでこの性質は、つぼみを切って花瓶にさしても同じように起こります。アサガオの開花の体内時計は、葉ではなくつぼみ自体に備えられているのです。

もう一つ不思議に思うのは、アサガオのつるはなぜ上に向かって伸びるのでしょうか。下に向けようとしても上に伸びて行ってしまいます。

この性質には、オーキシンという植物ホルモンが関係しています。つるが下に垂れると、重力にしたがってオーキシンが下側に移動して、濃度の不均衡が起きます。オーキシンの濃度の高い部分（この場合は茎の下側）ほどよく成長するため、生育のスピードに差が出て、上に向かって曲がるのです。

毎朝、日本の夏を感じさせてくれるアサガオの花も夏休みが終わり秋がしだいにやって来ると、種に変わり来年の新しい花に引き継がれていくのでしょうか。9月に秋多中学校の生徒がこの鉢を引き取りに来るまでに、たくさんの種ができるように毎朝の水やりを続けることにしましょう。

専門医に学ぶ 第80回

公立阿伎留医療センター 脳神経外科部長 伊藤 宣行

問題

【症例】82歳 女性

【家族歴】特記事項なし

【既往歴】78歳時 腰椎圧迫骨折、認知症
80歳時 脳内出血

【現病歴】食事中、突然意識障害が出現し、椅子より転落。救急車で搬入された。

【診察所見】意識レベル JCS 20点、瞳孔異常なし。重度の左片麻痺を認めた。血圧は125/60mmHgで脈拍72(整)、体温36.2℃。呼吸状態に異常は認めなかった。

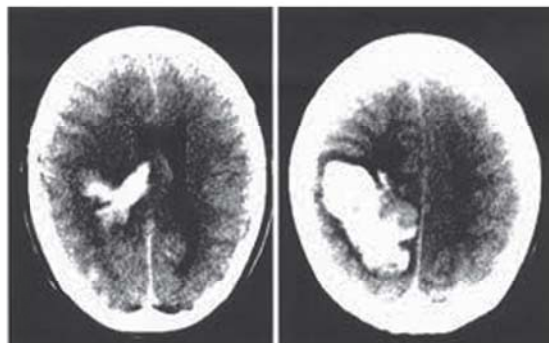


写真1. 入院時 CT

1) 入院時 CT (写真1) では、右頭頂葉に脳葉出血を認めた。この疾患で疑われる病態は何か？

解答：アミロイドアンギオパチーに伴う脳内出血

高血圧の既往がなく、認知症を認める高齢者の再発性皮質下出血であることより、アミロイドアンギオパチーに伴う脳内出血が疑われる。

- 2) この病態で誤っているのはどれか？
- a. 認知症を伴うことが多い
 - b. 再出血を起こしやすい
 - c. 加齢とともに発症頻度が上がる
 - d. 非外傷性脳内出血の50%をしめる
 - e. 外科治療が推奨される

解答：d、e

以下の解説を参照されたい。

脳アミロイドアンギオパチー (Cerebral Amyloid Angiopathy : CAA)

【概念】

アミロイドーシスの分類は、一般に全身性と限局性に大別される。CAAは限局性に分類される脳アミロイドーシスの血管沈着型である。遺伝歴、家族歴のない高齢者から、高血圧性脳内出

血の好発部位とは異なる、脳葉出血を呈し、出血周囲組織からアミロイドの存在が確認されるという報告が蓄積され、出血性脳疾患との関連が確立された。非外傷性脳内出血の10%前後をしめるといわれ、大部分が脳葉出血である。加齢とともに発現頻度は高くなり、認知症を伴っていることが多い。

アミロイドβが主要沈着タンパクであり、血管平滑筋細胞が破壊され、血管拡張や微小動脈瘤形成が起こる。血液脳関門は破綻し、さらに血管壁への血漿成分沈着（フィブリノイド壊死）来たし、容易に出血が起こるようになると想定されている。

【診 断】

出血巣が高血圧性脳内出血の好発部位とは異なる皮質下にある場合や、高血圧のリスクを有しない高齢者、出血が時間的、空間的に多発する場合は積極的に疑う。臨床所見で確定診断を下すのは困難で、病理診断に委ねるのが現状である。なお、時間的多発性を検索（陳旧性血腫の検出）するには、gradient echo MRI が有用である。

【治 療】

CAA そのものの予防、あるいは有効な治療法は現在のところない。

脳葉出血の場合、外科的血腫除去の対象となりうるが、症状が軽度の場合、保存的に経過をみる方がよいとされる。大血腫で症状が重篤な場合、手術が考慮されるが、アミロイド血管は弾性に乏しく、脆弱な状態にあり容易に破綻するため、再出血の危険が高いことを十分認識する必要がある。

広 報 だ よ り



争いから学ぶこと

青梅市 かごしま眼科 鹿児島 武志

今年も8月を迎え広島、長崎の原爆記念式典が執り行われ、15日には、終戦記念日にあたり日本武道館で両陛下をお迎えし全国戦没者追悼式が行われた。戦後66年が経ち、我が国の平和と繁栄が築き上げられたが、歴史を鑑み戦争の惨禍が再び繰り返されないことを願い、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対して深い追悼の意を表わされた。この数日、マスメディアでは特集として戦争の悲惨さやその現場に居合わせた人々の今や貴重とも言える証言が切なく繰り返されていた。

先の戦争に対する贖罪が多く語られるが、大義や利己的な目的のない戦争などは、実際にはないと思う。独立戦争や民衆の武装蜂起、市民革命も為政者からみれば反勢力の抵抗であるともいえる。見方を変えれば宗教や民族間の問題から発生するテロ活動を、鎮圧する側からは、「大義」があればこそ容赦なく相手を潰してゆくし、裏面には外交バランスをも十分考慮した戦略が存在する。大義の名のもとに起きた戦争による犠牲者は絶えないが、今日、エネルギー消費が沸騰する時代に、石油を求めてあるいは食料、水を目的とする戦略政策を各国が窺うのは大義の中身こそ違え当然のことであろう。

砲火がなびき、次々と命が失われるという実戦のバトル以外にも、目にこそ見えないが、戦いという意味でマネーゲームも経済の戦争である。最近のギリシャのデフォルト騒動を契機とした欧州の経済不況、アメリカの財政危機、それらが投機筋の思惑となり、その結果円は最高値をつ

け、市場介入もさして効果は限られ19日には1ドル＝75円95銭に達した。大手の某自動車メーカーでは82円を採算ラインとしているので経営の根幹すら揺るぎかねない。日本は対GDPに対する債務残高の占める比率は最高の上、大震災復興、原発事故への補償による財政難のあえぎ、加えて拙劣な政治の混迷もあり、さらに経済不況は今後さらに低迷する一方であろう。現代のマネーゲームはリアルタイムで操作される点が昭和初期の大恐慌とは大きく違ってくるものの、投機も一種の戦争であり、その証拠に景気後退時には安定しているとされる金の価格が市場最高値をつけている。

マネーゲームとは異なるバトルも市場にはある。グーグル社のモトローラ社の買取には、自社の6500億円の純利益を上まわる9500億円が買取のために投資され、まさに社運をかけた大バクチとなった。世に初めて携帯電話を提供したモトローラ社は携帯電話に関する特許を17000件もっており、現在、OS別ではi-phoneアップル(22%)、google アンドロイド(43%)、nokia(22%)のシェアがあるという。今後はYou tubeをも合併したグーグルはさらにpcソフトの分野で世界市場を席卷しかねない勢いがある。このような円高では、さらに厳しい経済環境が予想され、ソフトではなくハード方面の物作りの雄である日本も負けては行かないが、残念ながらため息のでる話の方が多いようだ。

もともと、今日のような不況の時期には、負けずに、そして血を流さないで戦いに勝つといった知らせが何よりの我々の励みになる。先日のでしこの優勝では日本中の皆さんが胸のすく思いをした。競争社会ではチャンピオンになった途端に常に追われる立場にあるが、でしこもチーム全員の思いは次の目標のオリンピックにかけているに違いない。後にアメリカチーム関係者が、あの試合には日本に「努力と目標達成」という12人目の素晴らしいプレーヤーがいたと語ったそうだが試合ぶりを思いだして十分に納得がいった。

サッカーといえば昨年の男子のワールドカップでの立派な戦いぶりも真夜中に血眼になって釘付けにされたことは記憶に新しい。事前の作戦通りに行かないのが、あらゆるスポーツ競技の常だが、同時期に作戦通りに行かなかったが奇跡的に7年間で60億kmの宇宙空間を飛行し地球帰還を達成した、小惑星探査機「はやぶさ」の存在も生き物でこそないが日本中を感動させてくれた。宇宙環境を制覇することは軍事目的にも商業目的にも応用されるため世界中で先端技術にしのぎを削っている。軍事的なはやぶさの位置づけはよく分からないが、地球の重力圏外での天体の個体表面への着陸とサンプルの取得は快挙であることには違いなく、自分のことのように嬉しい思いがした。不況の時代には、心底、喝采を贈りたくなるような快挙がなければ意気はしぼんでしまう。

またごく最近のニュースで報じられていたが、京都大学の山中教授のiPS細胞の作製技術に関する特許が医薬品市場大国であるアメリカで成立したことも画期的な出来事である。世界の市場で8割を占める日欧米での基本特許を独占したことになり、医療分野での一層の発展が期待される。

生きている以上、争いは日常茶飯事であり、血で血を洗う宗教間の、民族間のそして国同士の戦争あるいは、眼に見えないが直面しているマネーゲームを始めとした経済戦争などなど。そこに飢えや貧困、自然との戦い、放射性物質の除染との戦いなどが入ると、その因果関係には枚挙にいとまがなく、困惑する一方である。勝利者は一体誰なのかという疑問がついてまわる。結局は科学的な成果が(無理にスポーツを含めても)人々の遺産となるような戦果をあげてこそ人類の未来が開けて行くような気がする。

『西多摩地域糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ』

今月のメッセージは、検討会委員でもある、かごしま眼科院長の鹿児島武志先生にお願い致しました。

糖尿病網膜症について

糖尿病網膜症は以下の段階をへて進行する。(改変; Devis 分類)

分類

1. 単純網膜症。網膜出血点・斑状出血、硬性白斑、毛細血管瘤、網膜浮腫、少数の軟性白斑
 2. 前増殖網膜症。軟性白斑、静脈異常、網膜内最小血管異常
 3. 増殖網膜症。新生血管、線維増殖膜、硝子体出血、網膜剥離、網膜前出血
- そのほか黄斑症。黄斑浮腫が挙げられる。

ただし黄斑症は黄斑部の浮腫に伴い視力低下をきたす状態で、ステージ分類には規定されない。

病態について; 糖尿病網膜症の主な病態は浮腫・虚血および血管新生である。出血と浮腫は血管壁の破綻と透過性亢進であり、虚血は血管の閉塞・消失であり、新生血管は血管の増殖である。単純期、前増殖期、増殖期へ対応している。なお、浮腫・新生血管の出現には血管内皮増殖因子 (VEGF) の関与が大きく関与しており抗 VEGF 抗体の硝子体内注射が最近行われている。

視力について; 病期が進行しても、黄斑部に出血、浮腫などの障害がなければ患者の自覚症状としての視力低下はない。

血糖の是正とそのほかの合併症について; 網膜症の進展は他の合併症と同様、罹病期間と血糖コントロールに依存し、閾値は HbA1c が 6.5% 以下とされている。病期にもよるが、急速な血糖降下は出血や網膜浮腫をきたし網膜症の悪化を招くことが予想されるため、とくに光凝固前の前増殖期・増殖期では早期の眼科受診が必要である。また単純網膜症においても血糖是正後にも出血斑の出現が見られる症例もあり長期の眼底の精査が必要と思われる。

糖尿病患者では高血圧症の合併の頻度は高く糖尿病網膜症と高血圧網膜症の合併はありうるので光凝固の適応には血圧の管理も重要である。また腎症を合併する網膜症では黄斑浮腫が見られ光凝固も有効でない経過をとることが多い。

予備軍を含め 1620 万人ともいわれる。糖尿病を悪化させない為には各科の協力が必要です。診断がでたら眼科にも受診するよう勧めましょう。

「永井克明様の労をねぎらう会」報告

平成 23 年 7 月 22 日（金）西多摩医師会前事務長の「永井克明様の労をねぎらう会」が昭和の森「車屋」大広間にて行われました。多数の医師会員が参加し行われました。

この会は横田卓史西多摩医師会会長、小机敏昭あきる野市医師会会長、田坂哲哉福生市医師会会長、野本正嗣青梅市医師会会長が発起人となり 46 名の会員が参加しました。

永井克明様は、平成 7 年 7 月 1 日より平成 23 年 6 月 30 日まで 16 年間の長きにわたり、事務長として医師会の円滑な運営にご尽力頂きました。

松原、宮川、真鍋、横田の 4 代の会長に仕え、様々な局面でご苦勞があり多くの会員の皆様も多角的なご援助を頂いたことと思います。

ねぎらう会は歴代会長の挨拶後会食となりました。

永井様は参加会員全員の席を回り歓談され最後まで心配りをされておりました。

最後に紅一点宮城真理理事から花束の贈呈後お開きとなりました。





理事会報告

★ Information

7月定例理事会

平成23年7月26日(火)

西多摩医師会館

[出席者：横田・坂田・鹿児島・野本・川上・川間・蓼沼・江本・川口・山川・岩尾・宮城・近藤・池谷・松原・足立・真鍋]

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長連絡協議会（7月15日）報告

1. 都医からの伝達事項

- ①平成22・23年度の日本医師会定款・諸規定改定検討委員会中間報告について
選挙管理委員会を設置する予定
- ②第28回日本医学会総会参加登録者へのご案内（既を送付済み）
9/17・18 東京ビッグサイトで特別企画の講演会を行う
- ③子ども虐待防止フォーラムの共催依頼について
平成23年10月1日（土）日本医師会館 大講堂
- ④在宅療養推進のための課題と今後の方向性について
- ⑤東京都医師会主催第13回「日本医師会指導医のための教育ワークショップ」
開催について
平成23年10月9日（日）・10日（月）東京都医師会館 4階

2. 地区医師会からの報告

- ①中央ブロック（当番：神田医師会）
昼間の会議への出席が困難（若手医師の積極参加を期待）
- ②城東ブロック（当番：江戸川区医師会）
 - 1) 臓器移植事件について→当事者から退会届が提出され、受理した
 - 2) 死亡交通事故発生報告
- ③城西ブロック（当番：新宿区医師会）
 - 1) 第4回中野医療フォーラムについて（中野区医師会）
- ④城南ブロック（当番：荏原医師会）
- ⑤城北ブロック（当番：豊島区医師会）
 - 1) 広報誌のデジタル化について（板橋区医師会）
1号から全号デジタル化した
（中央区、中野区は実績有り）
 - 2) 医療機関の名称について（板橋区医師会）
個人開業の「癌研〇〇サ〇ラ〇ト〇〇ニ〇〇」
癌研とは無関係なのに名称が紛らわしいのではないかとの意見あり

既に豊島区にも現存している……不適當ではないだろうとの意見が多数

- ⑥多摩ブロック（当番：立川市医師会）
- ⑦大学ブロック（当番：女子医大医師会）

3. 出席者による意見交換

- ①社会保障・税一体改革成案（案）に対する3師会意見書について
- ②医療機関の事業税非課税措置（都道府県税）に関わるお願いについて
都医師会レベル、地区医師会レベルでも提出した方がよいとの意見あり

4. その他

- ①東京の精神保健福祉について
- ②救急相談医（センター）問い合わせで夜間が多忙、看護師の増員が必要？

2. 各部報告

総務部

- 7/6 市民公開講座の開催及びアンケート結果について
216名の参加者から126名の回答を得た
- 7/4 「将来の医師会を担う若手会員の意見を聴く会」報告
9名の会員が参加有多くの意見が交わされた
- 7/11 平成23年度納涼会開催及び収支についての報告
- 6/27 生活保護法指定医療機関調査結果について

3. 地区会よりの報告（各地区理事）

- 青梅市 7/22 FAXによる理事会
- 福生市
- 羽村市 7/9 納涼会
- あきる野市 7/19 定例会
- 瑞穂町
- 日の出町

4. その他報告

- 都医救急委員会（7月25日 小山英樹委員）
 - *委員長・副委員長選出
 - *議事
 - 休日・全夜間診療事業実績報告
 - H23年度休日・全夜間診療事業実施医療機関一覧
 - 休日・全夜間診療事業実施対策協議会
 - 東京都地域救急医療センター
 - H23年度東京都・小平市・西東京市・武蔵野市・小金井市合同総合防災訓練

東京消防庁救急相談センター

東京消防庁救急端末

救急活動時間

DVD「東日本大震災における医療救護支援活動報告」

東日本大震災に伴う医療救護班の派遣

以上 10 項目について

【2】報告承認事項

1. 入・退会会員、会員変更について —— 承認 ——
2. ミニ医療講演会「肝臓病教室」に係る後援依頼について —— 承認 ——
9月11日に行われる講演会に後援として西多摩医師会の名前を使用
3. 東京都医師会公衆衛生委員会委員の推薦について —— 承認 ——
川口卓治理事を推薦

【3】協議事項

1. 「開放型病院に関する協定書」の締結について —— 承認 ——
川上正人理事より説明

【4】その他

1. 「地域産業保健事業の運営に関する連絡会」（7月6日東京都医師会）報告
2. 地域医療連携の推進のご協力について（依頼）（都立小児総合医療センター）
3. 8月の理事会休会について周知
4. 100周年記念式典の会場についての意見交換、横田基地も考えたい

会員通知

- | | |
|----------------------------------|--|
| ○会報 | ○胃がん検診読影従事者講習会（9/15） |
| ○宿日直表（青梅・福生・阿伎留） | ○地域医療連携の推進のご協力について
（東京都立小児総合医療センター） |
| ○がん検診を受けてください | ○後発医薬品の品質等に関する調査の協力依頼について |
| ○東京都エイズ電話相談ポスター | ○ポスター「障（障）受給者証をお持ちの方へ」
及び「乳（乳）・子（子）医療証をお持ちの方へ」の
掲示について |
| ○西多摩保健所だより | ○健康食品に関する安全性情報共有事業について |
| ○産業研修会（10/16昭和大学医師会） | ○子供の夏の感染症に注意！～手足口病やへ |
| ○ “ ” （10/8～10日本医師会） | |
| ○ “ ” （11/19日本医科大学） | |
| ○健康スポーツ医学講習会
（11/12・13・26・27） | |
| ○肺がん検診従事者講習会（10/6） | |

————— 表紙のことば —————



『ばら』

毎年庭に白薔薇が咲きます。4号のキャンバスに油彩で描きました。白の影は何色か、苦勞いたしました。「よ

くよく観察して、感じた色おいてゆきなさい」師の教えでした。いまだに解りません、一生の課題と思っています。

稲垣壮太郎

————— あとがき —————

この原稿が皆様のお手元に届くときは9月上旬になっていると思います。そろそろ秋の気配が感じられているでしょうか。秋は私にとっては「食欲の秋」より「読書の秋」です。秋の夜長にはできれば読書を楽しみたいと思っています。

中学生の頃は翻訳物の海外ミステリーやSFばかり読んでいました。次第に国産小説の良さも分かってきて、その後は国内外問わずおもしろい小説をよく読んでいます。小説ではいわゆる物語が好きです。良くできた話というか、ひとときの間、現実を忘れさせてくれるような小説が好きです。そしてエンディングがきれいな小説が好きです。

最も好きなエンディングは、「さらば愛しき女よ (Farewell, My Lovely)」（1940年）のエンディングです。最近、村上春樹による新訳がでましたが、私は清水俊二訳の方が好きです。ハヤカワ・ミステリ文庫で読むことができます。原文を知りたくて初めて洋書でミステリーを購入した忘れがたい本です。原文も訳文も見事です。

「私はエレベーターで1階まで降り、市庁の正面の階段に立った。一点の雲もなく晴れあがり、空気が冷たく澄みきっている日だった。はるか遠くまで見とおすことができた—しかし、ヴェルマが行ったところまでは見えなかった。」

"I rode down to the street floor and went out on the steps of the City Hall. It was a cool day and very clear. You could see a long way—but not as far as Velma had gone."

10年前、2001年9月11日にアメリカ同時多発テロ事件がおきました。あれから早10年が経過したわけですが、その間に世界は混迷を深めているように思います。同時多発テロ、その後の各国各地での紛争。2008年のリーマンショックに端を発する世界的な金融危機。日本においても今年3月11日の東北地方太平洋沖地震とそれによる東日本大震災。その後の東京電力福島第一原子力発電所事故とそれによる放射能汚染、節電。急激な円高等々。

来る24年度は診療報酬と介護報酬の6年に1度の“ダブル改定”もやってきます。

現実世界ではいろいろ大変なこと続きですが、世間の雑事を忘れて、静かに本の世界に浸る。そんな時間の過ごし方も必要です。皆さんもこの秋ぜひ思い出に残るような素敵な本と出会って下さい。

きくち耳鼻咽喉科クリニック

菊池 孝

お知らせ

事務局より お知らせ

平成23年10月(9月診療分)の

保険請求書類提出

10月6日(木)

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生がお亡くなりになりましたので、法律相談は一時中止となります。

社団法人 西多摩医師会

平成23年9月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23) 2171・FAX 0428(24) 1615

会報編集委員会 近藤 之暢

鹿児島武志 江本 浩 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝
桑子 行正 土田 大介 奥村 充 渡邊 哲哉

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22) 3047・FAX 0428(22) 9993



東京厚生信用組は
福祉・医薬・医療・環境
衛生の関連事業者の
発展に寄与してまいります。

東京厚生信用組は、
医療関連事業を営む皆様を
対象として、1953年に設立された
協同組織の金融機関でございます。

既に各地区医師会で多数の会員の皆様にご利用頂いております。これからも、会員の皆様にご密着した金融機関として努力して参ります。

安心と信頼の
パートナー

貴重なお時間を有効にお使い
いただくため、訪問による相談
業務を得意としております。

お問い合わせは：医師会様担当 菊合まで
●本部〈フリーダイヤル〉
ふくしほえんこ

0120-294805

ご融資

- ・クリニック運営資金
- ・学術研究資金
- ・ご子息の教育資金
- ・記念パーティー等の資金
- ・お車購入資金
- ・その他どんな事柄でも
ご相談くださいませ。

都医ニュースでお馴染みの「東京厚生信用組」です。



「人間・福祉・環境」にやさしい
東京厚生信用組

本店 新宿区西新宿6-2-18/浅草支店 台東区駒形1-1-12
小平支店 小平市美園町1-31-1/青梅支店 青梅市河辺町10-8-3

